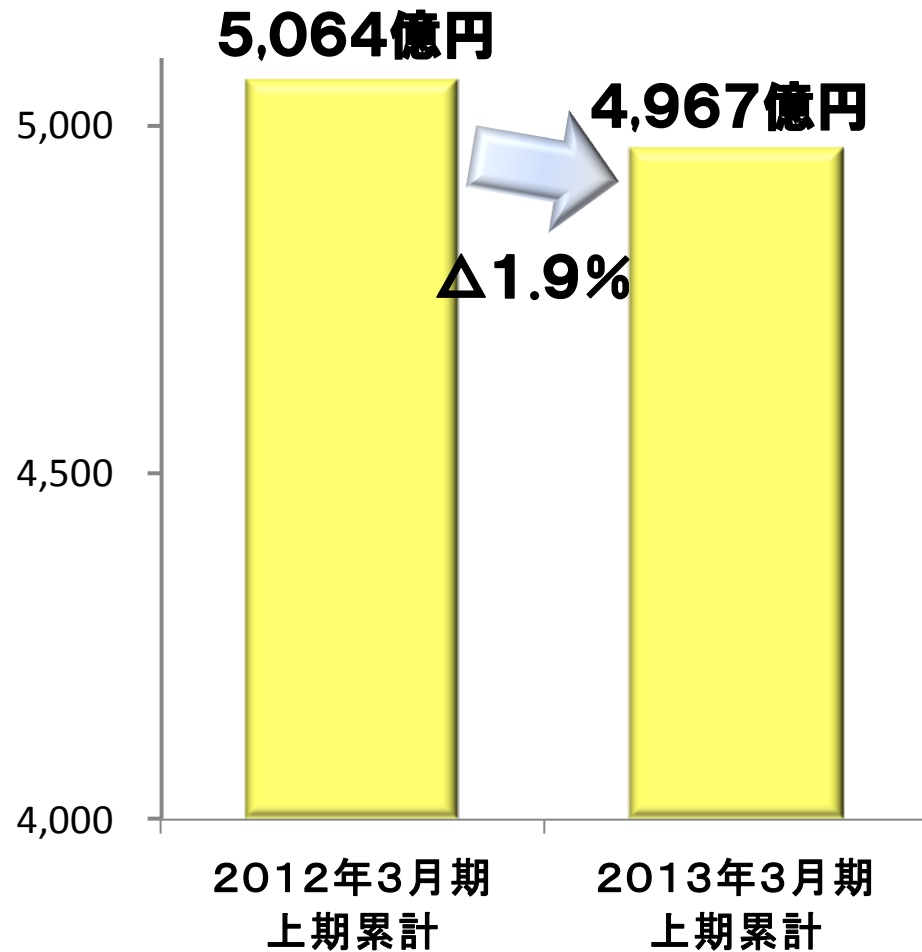


業績概要および 中期経営計画の進捗

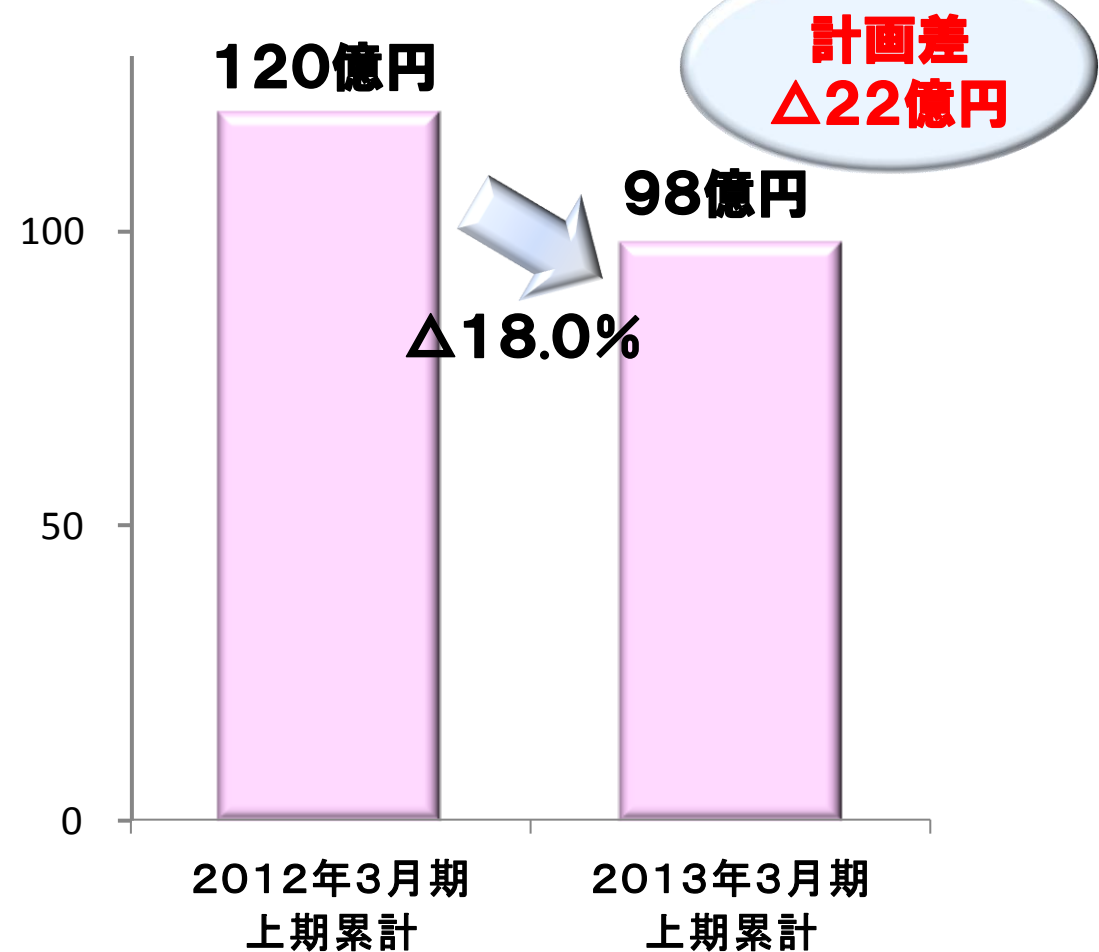
2012年11月2日
日本ハム株式会社
代表取締役社長

竹添 昇

1. 第2四半期決算概要



売上高



営業利益

営業利益の乖離要因

- 加工事業：加工食品（業務用）の数量減
- 食肉事業：豚・鶏肉相場安
ファーム事業の収益悪化
- 関連事業：水産事業の採算悪化
- 海外事業：飼料高による養豚事業の悪化

通期営業利益

300億円の計画変更なし

第3四半期以降で収益オン

2. 今期の見通し

● ポジティブ要因

- 堅調に推移するハム・ソーセージ
- 年末需要の拡大
- 輸入鶏肉の収益改善
- 食肉販売数量の伸長

● ネガティブ要因

- 飼料高による米国養豚事業の悪化
- 食肉相場回復の遅れ

3. 新中期経営計画パートⅣの進捗状況

①成長・効率化戦略への積極的投資

▶ 営業利益率4%の達成

②株主重視の経営

▶ 連結配当性向30%
自己株取得、総還元性向の向上

③資本戦略の推進

▶ 新たな経営指標としてROEを設定

④グループブランド価値の向上

▶ コーポレート・コミュニケーション体制の構築

3. 新中期経営計画パートⅣの進捗状況

①成長・効率化戦略への積極的投資

●加工事業

- ・茨城工場の建替え（投資：約70億円）
→生産効率向上を目的
- ・鎌倉ハム富岡商会の建替え
（投資：約20億円）
→高付加価値商品の強化



3. 新中期経営計画パートⅣの進捗状況

① 成長・効率化戦略への積極的投資

● 食肉事業

ファーム事業の増強

- ・ホワイต์ファームの増設（投資：約20億円）
（増羽：175万羽/年）
- ・ニイブロのグループ化（投資：約15億円）
（ニイブロ：出荷目標700万羽/年）

物流体制の充実（投資：約70億円）

3. 新中期経営計画パートⅣの進捗状況

①成長・効率化戦略への積極的投資

● 関連事業

- ・ 宝幸八戸工場新棟増築
→ 常温商品(缶詰)の強化

(投資: 約11億円) (+6,500t/年)



● 海外事業

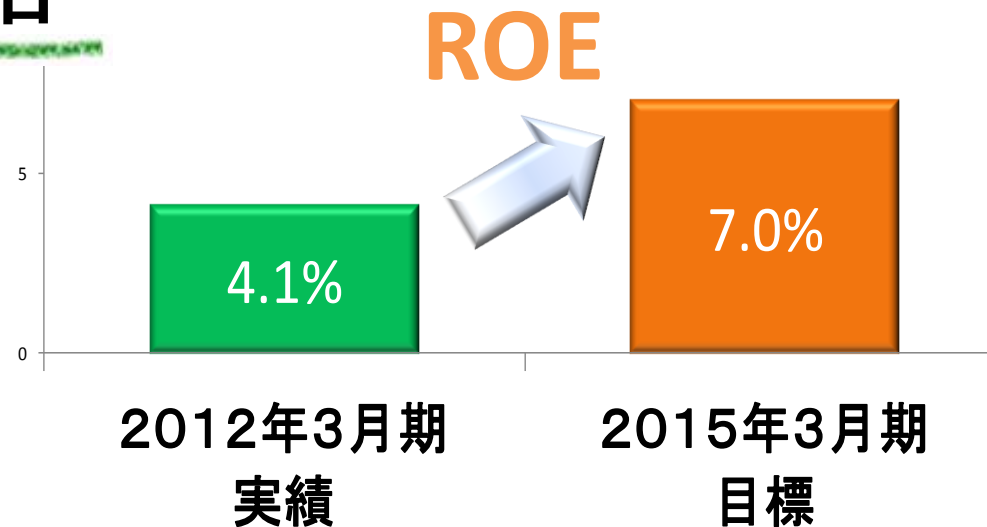
- ・ ベトナムの営業拠点の新設
→ ハム・ソーセージ直販体制強化

3. 新中期経営計画パートⅣの進捗状況

②株主重視の経営

- 自己株取得の実施
 - 普通株式 1,500万株(上限)、150億円(上限)
 - 自己資金での取得
- 今後も自己株取得を実施
- 戦略的にROEを向上

③資本戦略



3. 新中期経営計画パートⅣの進捗状況

④コーポレート・コミュニケーション活動

- ・料理教室（食物アレルギー教室、障がい者料理教室）
- ・学校、スポーツフェスタ等での食育セミナー、講演
- ・スポーツ教室（少年野球、少年サッカー）
- ・IR・SR活動（海外IR、投資家向け説明会、株主フォーラム）



食物アレルギー教室



障がい者
料理教室



サッカー教室



個人投資家向け
会社説明会

→幅広いC・C活動によるブランド価値の向上

4. 重要ファクターについて

1. 加工事業の構造改革
2. 飼料価格
3. 食肉市況
4. 米国産牛肉輸入規制緩和
5. 豪州事業の改革

4. 重要ファクターについて

1. 加工事業の構造改革

- 本体4工場に分社化
→コスト競争力強化と経営効率の向上
(10月1日よりスタート)
- 国内生産拠点の再構築
→生産体制の機能別最適化
- 茨城工場の新棟への建替え
→高生産性ラインの導入



4. 重要ファクターについて

2. 飼料価格

【国内】

- ・10月～12月の飼料価格上昇
- ・基金の補てん発動により、影響なし

【海外】

- ・米国は今期中、飼料高がマイナス要因

4. 重要ファクターについて

3. 食肉市況

- 輸入鶏肉
 - 在庫調整が進み、
下期以降、改善見込み
- 米国豚生体価格
 - 来春以降に回復の見込み
(出荷頭数減)

4. 重要ファクターについて

4. 米国産牛肉輸入規制緩和

- 一部の牛肉輸入量は増える見込み
(バラ、ショートプレート、タン等)
- 販売数量拡大が見込まれプラス要因
- 上記以外の部位
 - 輸入量の大幅増加は見込めず
(米国内の牛生体数の減少等が影響)

4. 重要ファクターについて

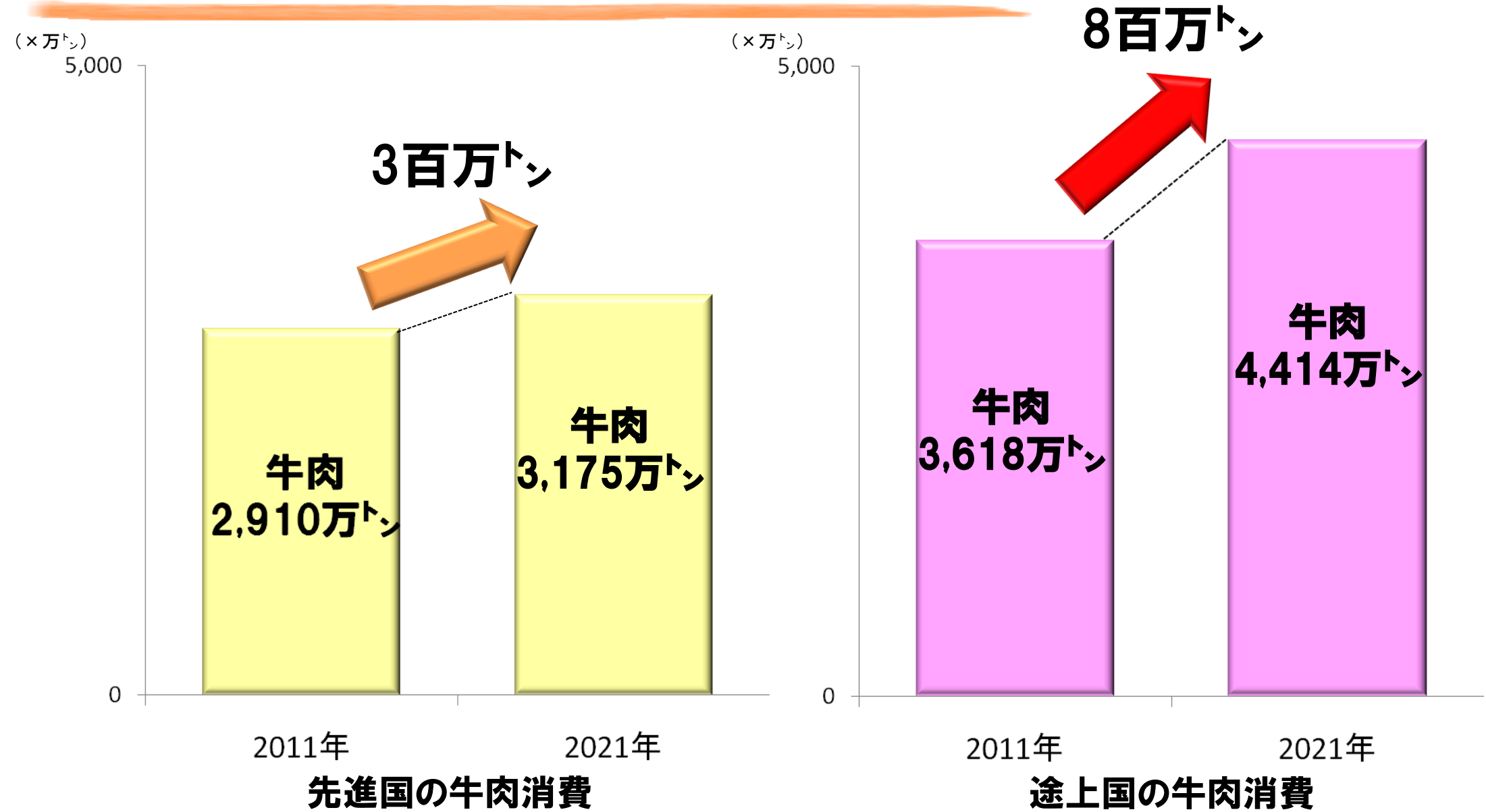
5. 豪州事業改革

- 牛生体の出荷頭数増
→ 仕入価格は昨年より下落、収益改善
- 対日輸出商品の見直し(利益対策)
→ 新ブランド(ワイアリーフ)を導入
(9月導入開始: 90t/月)
- 豪州産牛肉の販売体制強化(利益対策)
(中国、ASEAN、中東、ヨーロッパ等)



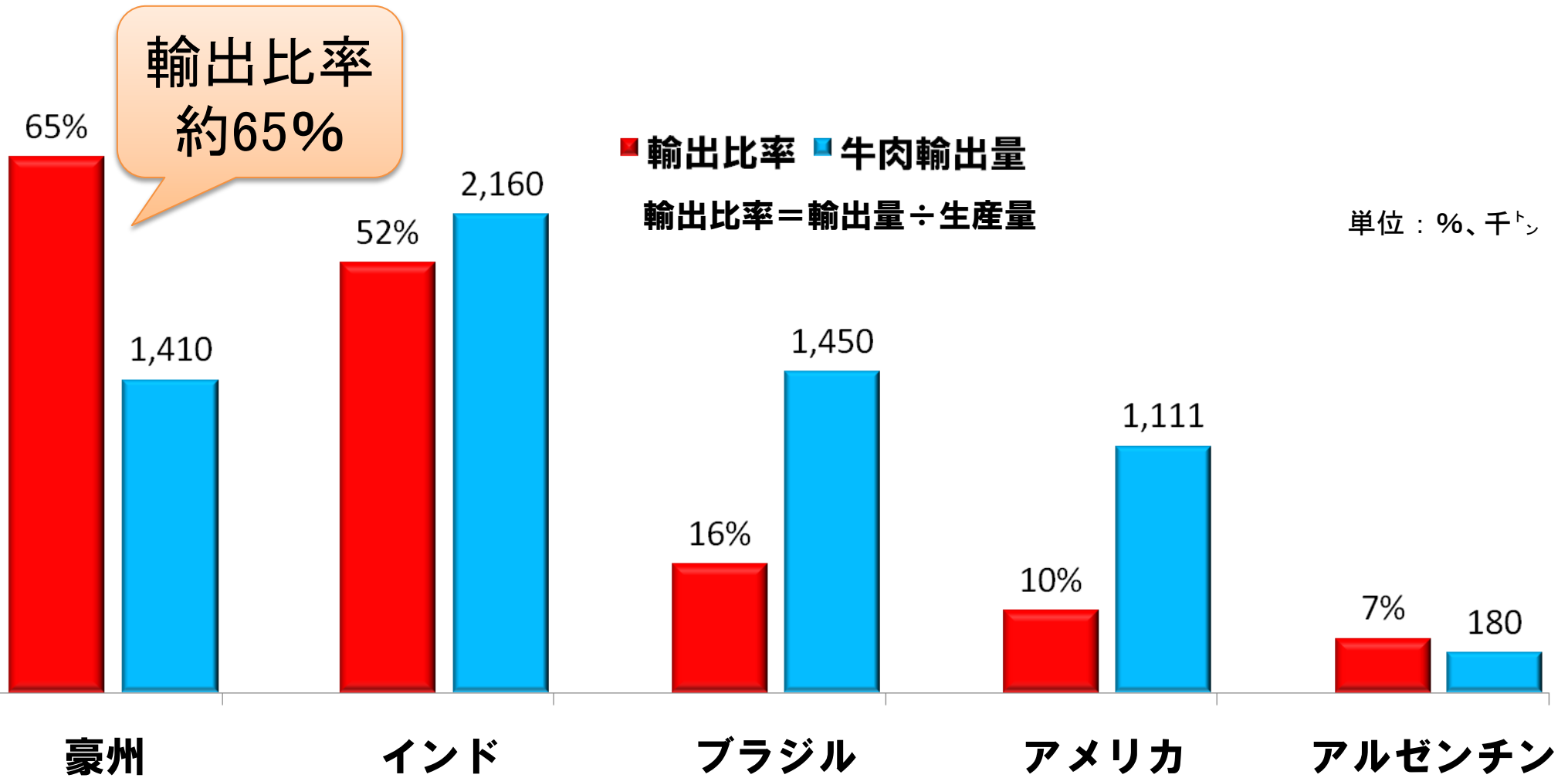
【参考】豪州事業の今後について

途上国での牛肉消費の増加



【参考】豪州事業の今後について

豪州のプレゼンスは高まる！



出所：USDA Livestock and Poultry: World Markets and Trade

・豪州はBSEリスクが低い

お問合せ先
〒141-6014 東京都品川区大崎2-1-1
ThinkPark Tower 14階
日本ハム株式会社 広報IR部
電話:03-4555-8024
FAX:03-4555-8189

見通しに関する注意事項

本資料は、現時点で入手可能な情報や、合理的と判断した一定の前提に基づいて策定した数値であり、潜在的なリスクや不確実性などを含んでいることから、その達成や将来の業績を保証するものではありません。

また実際の業績等も本資料における見通し、計画等とは大きく異なる結果となる可能性がありますので、本資料のみに依拠して投資判断を下すことはお控え下さい。

なお、将来における情報・事象及びそれらに起因する結果にかかわらず、日本ハムグループは当中期経営計画を見直すとは限らず、またその義務を負うものではありません。